

Happy Life = 生化学 大学院

ストレス フリー

最先端科学者と同レベルでの研究

最速 最短 確実 な 博士論文

義務なし。 勉学・に専念。

臨床 大いに結構

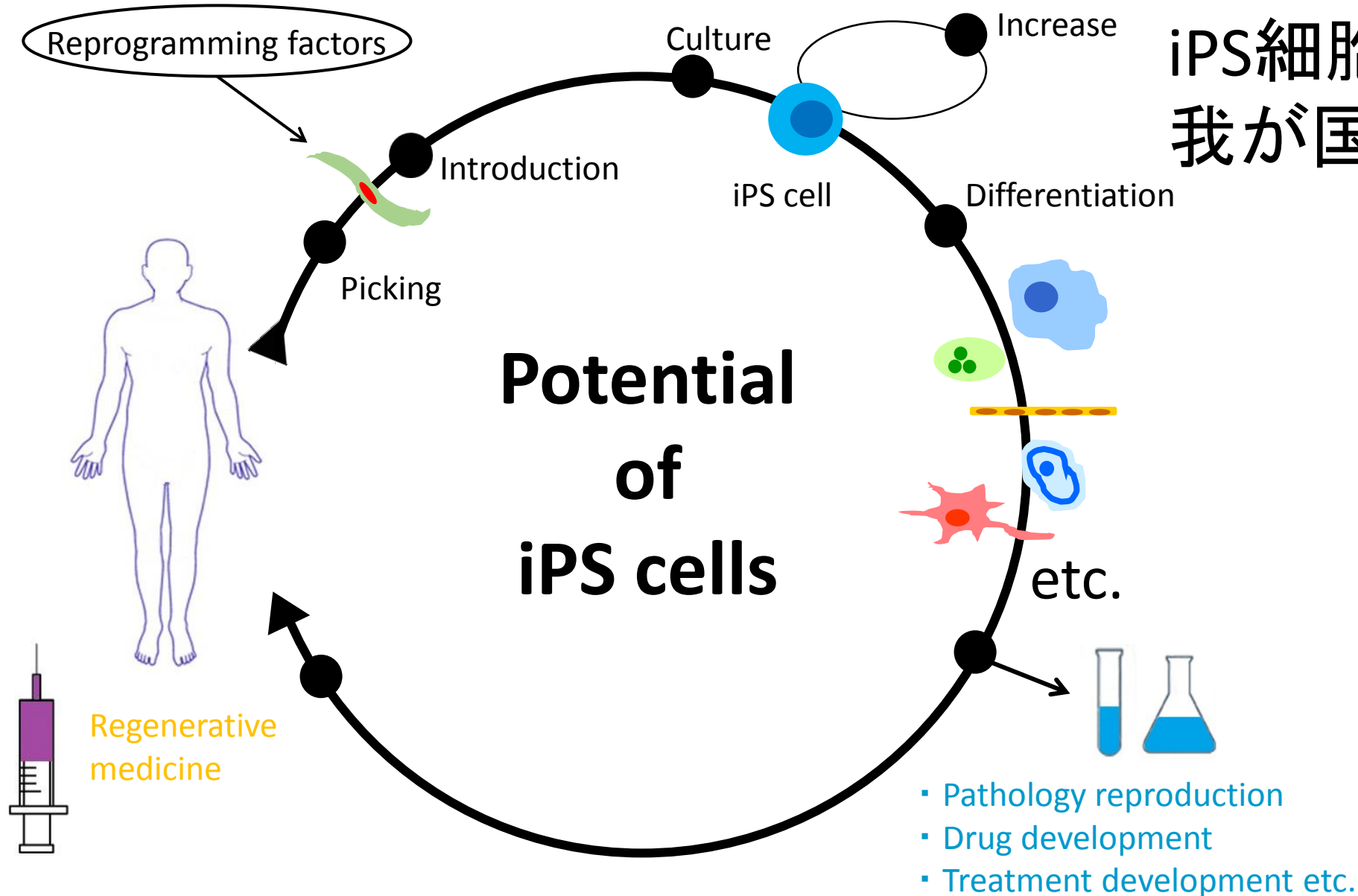
臨床をする制限は全くありません。 いくらでも OKです。

研究材料は 豊富で自由に選択できます。

希望するなら 最短/最速で論文審査に到達します。

私がマンツーマン指導。 ストレスフリーで論文作成まで

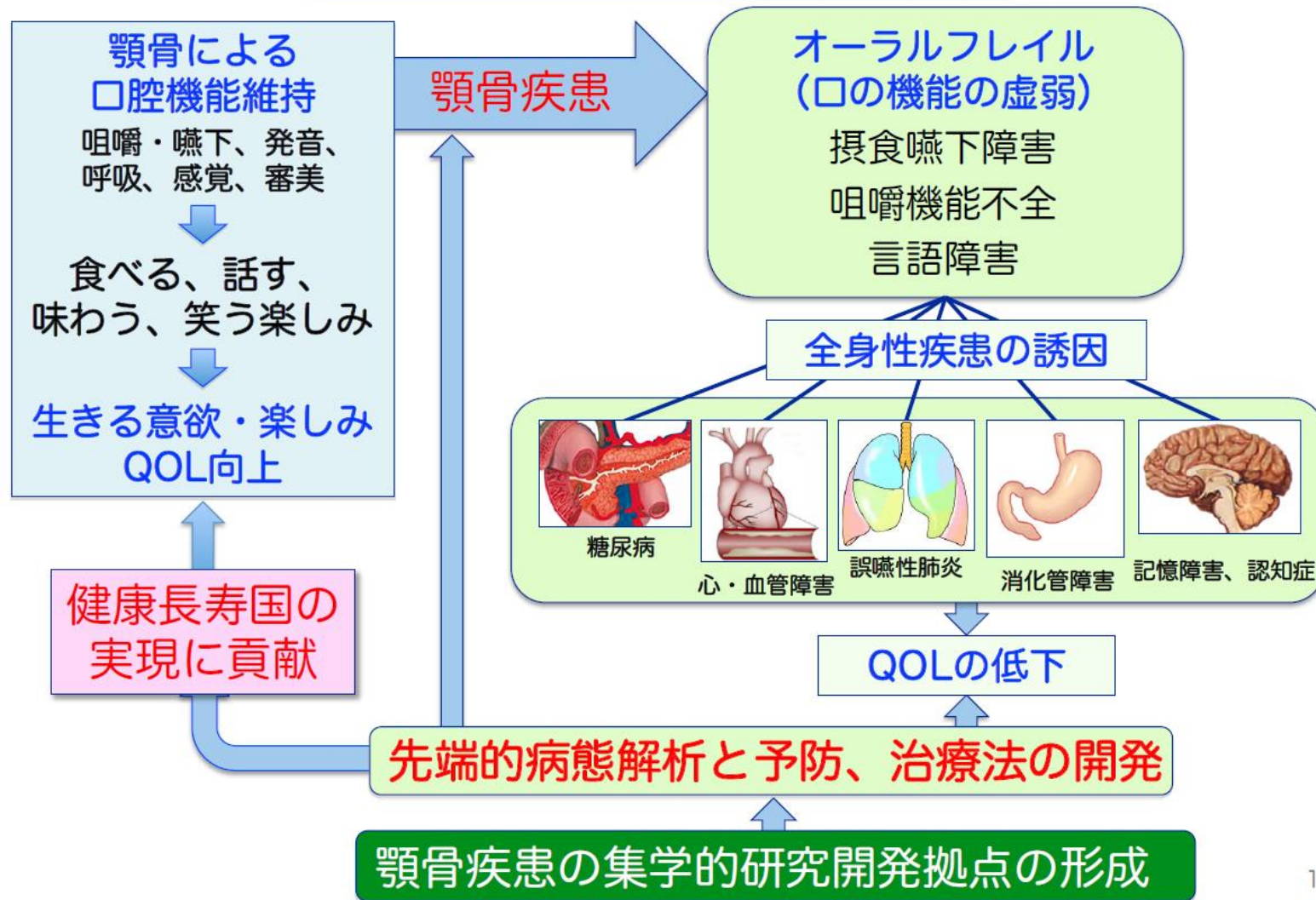
生化学講座は iPS細胞研究を行う 我が国唯一の歯学部



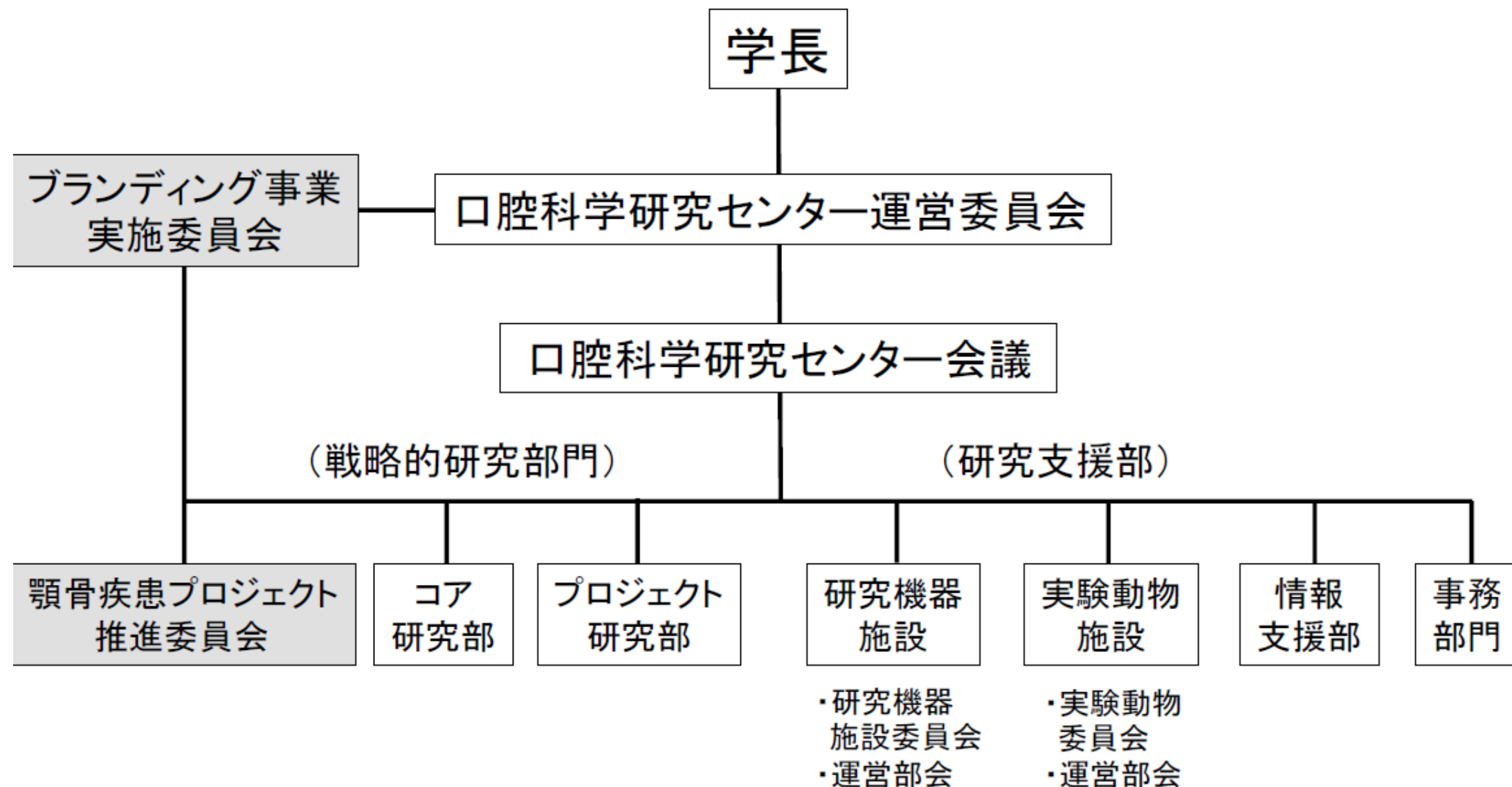
東京歯科大学 顎骨疾患プロジェクト

顎骨疾患研究の重要性

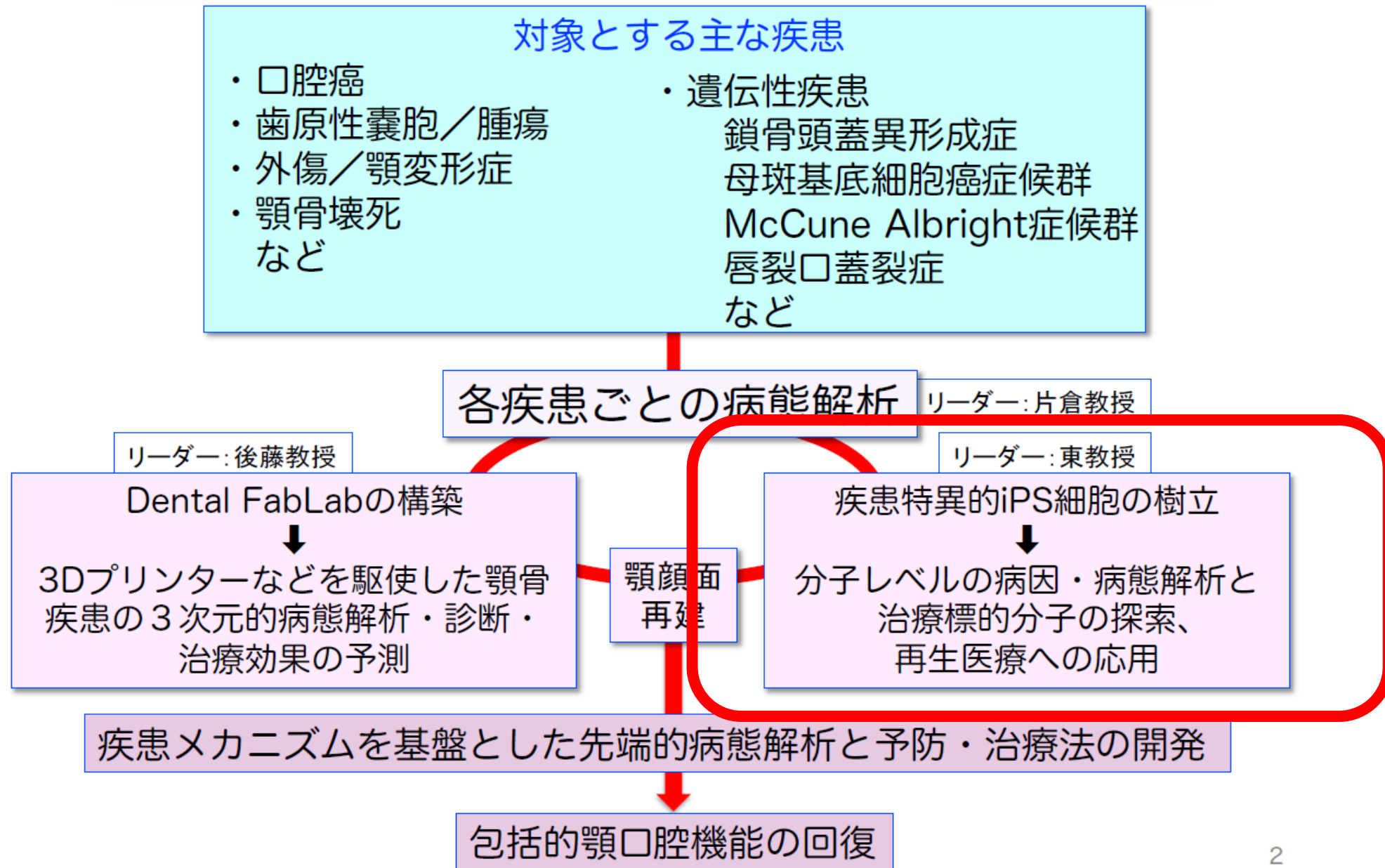
図 1

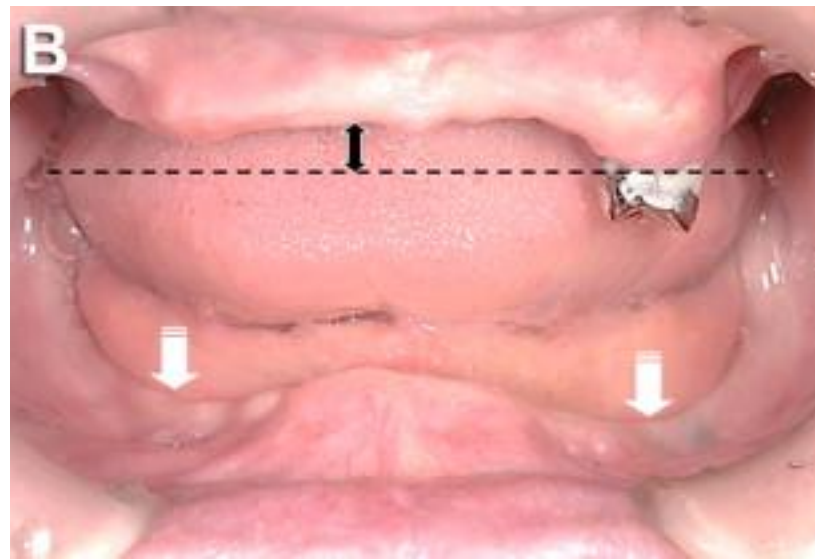


東京歯科大学研究組織



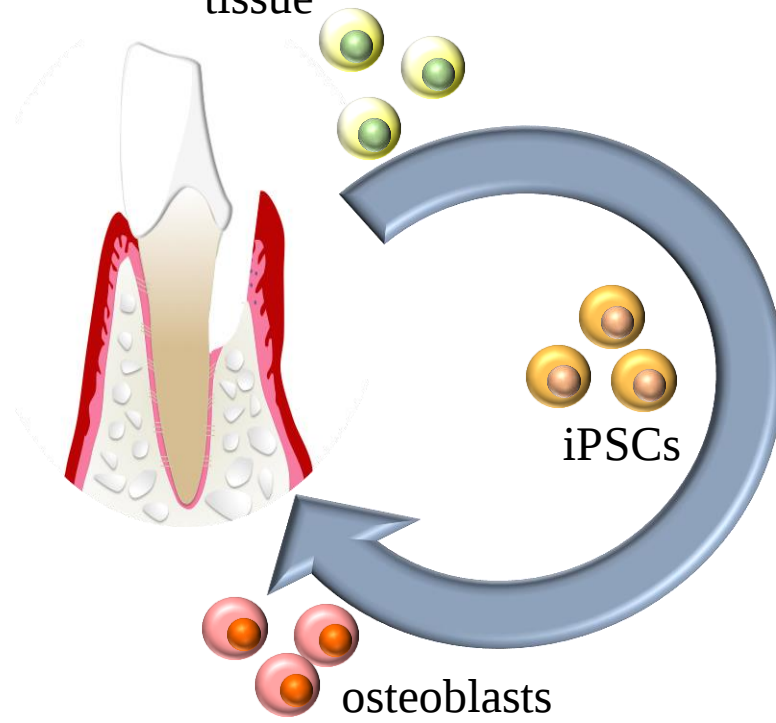
顎骨疾患の病態解析法と診断／治療法の開発





cells in periodontal
tissue

歯周病学講座とは緊密な共同研究



iPSCs

osteoblasts

共同研究講座

口腔病態外科学講座

歯科矯正学講座

小児歯科学講座

保存学講座

歯科麻酔学講座

オーラルメディシン口腔外科学講座

口腔領域は iPSを用いる再生医療の非常に適している。。

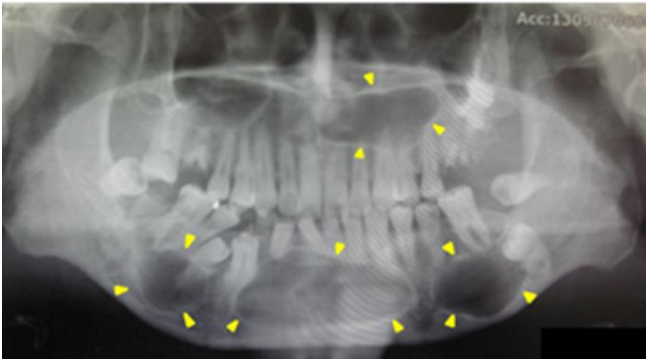
東京歯科大学を先天性疾患研究のメッカに

疾患特異的iPS細胞

- 鎖骨頭蓋骨異形成症
- Gorlin症候群
- 唇裂口蓋裂
- MaccuneAlbright症候群
- Apert症候群

Gorlin 症候群

- The frequency of GS was 1/27,000 in the USA



鎖骨頭蓋骨異形成症

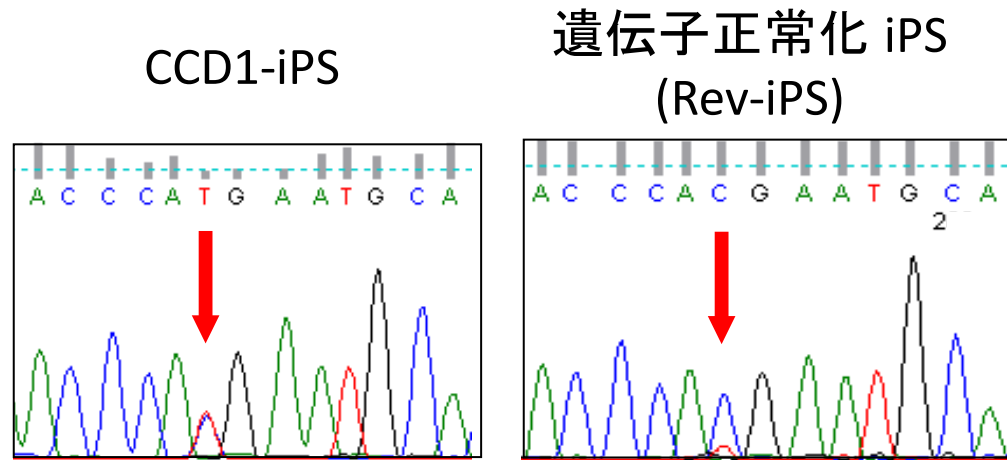
- The frequency of GS was 1/1000,000 in the USA



遺伝子を編集 自由自在に修正

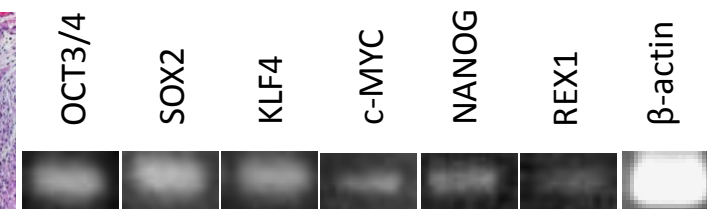
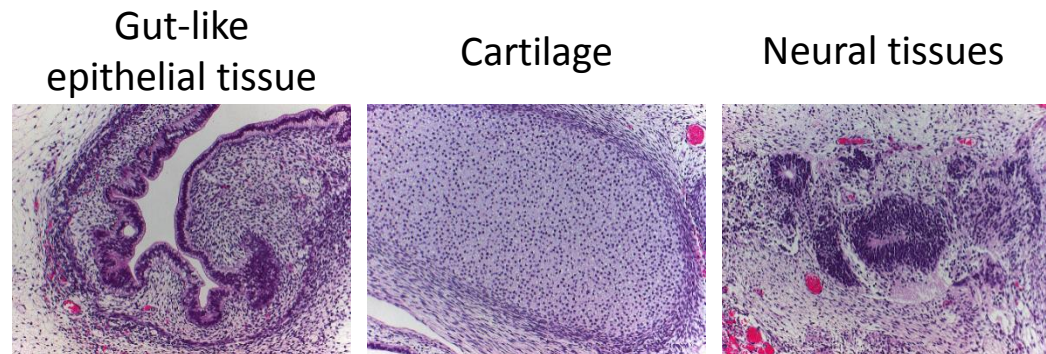
鎖骨頭蓋骨異形成症患者iPS細胞の変異を正常化

〈Sequence analysis〉

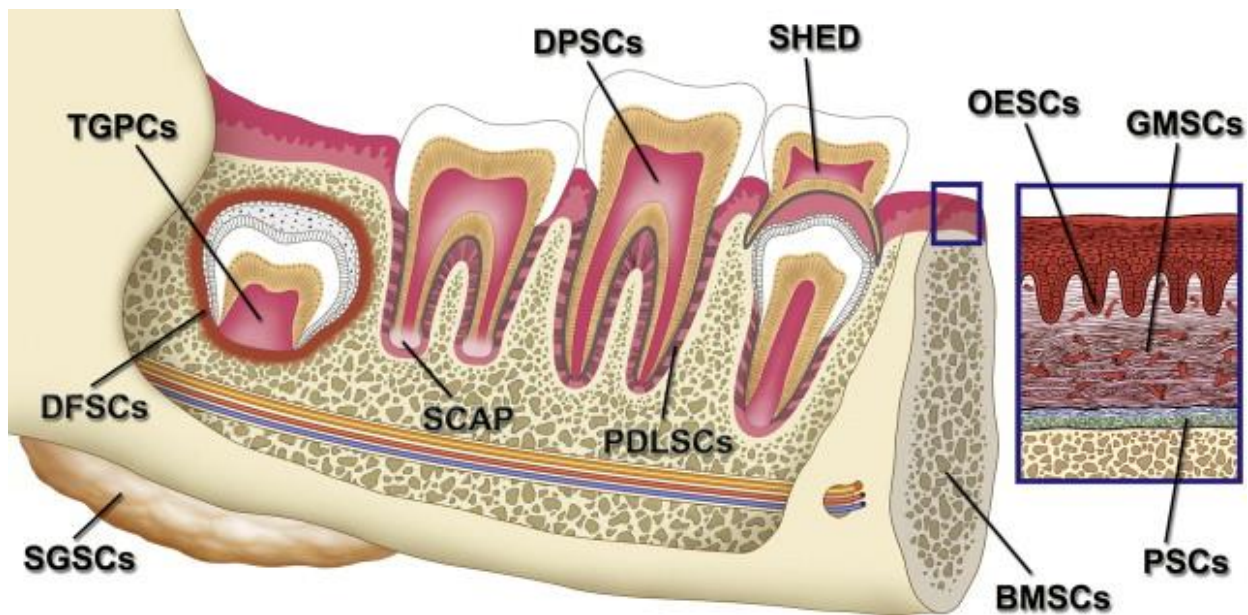


〈Pluripotency〉

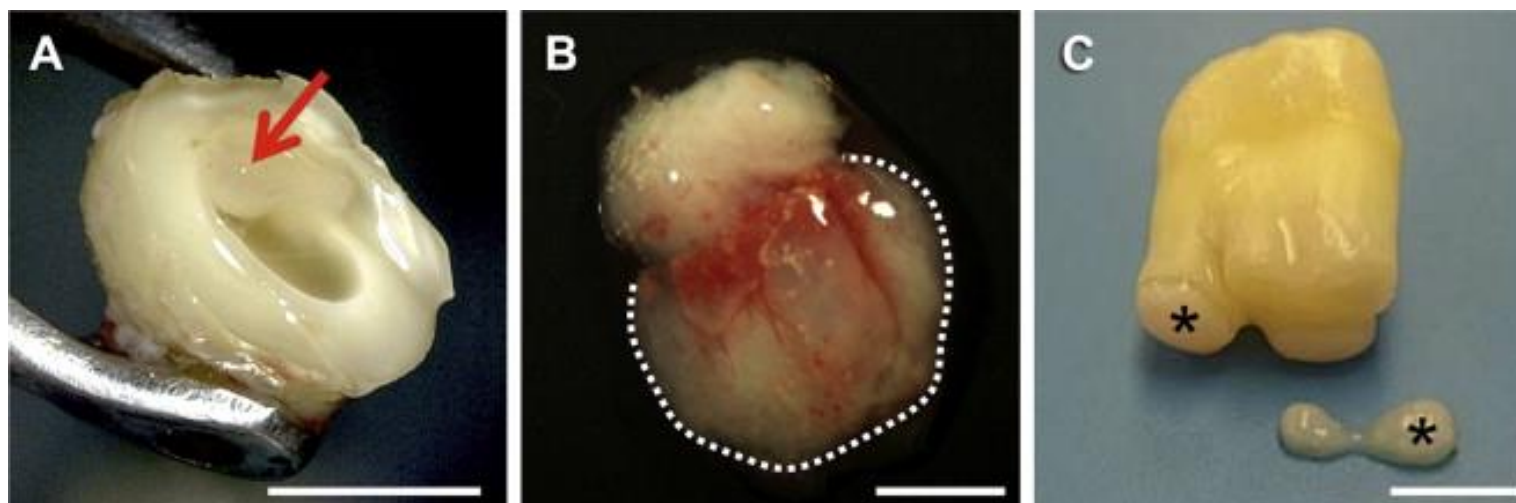
遺伝子を正常化しても
iPS細胞として機能する。



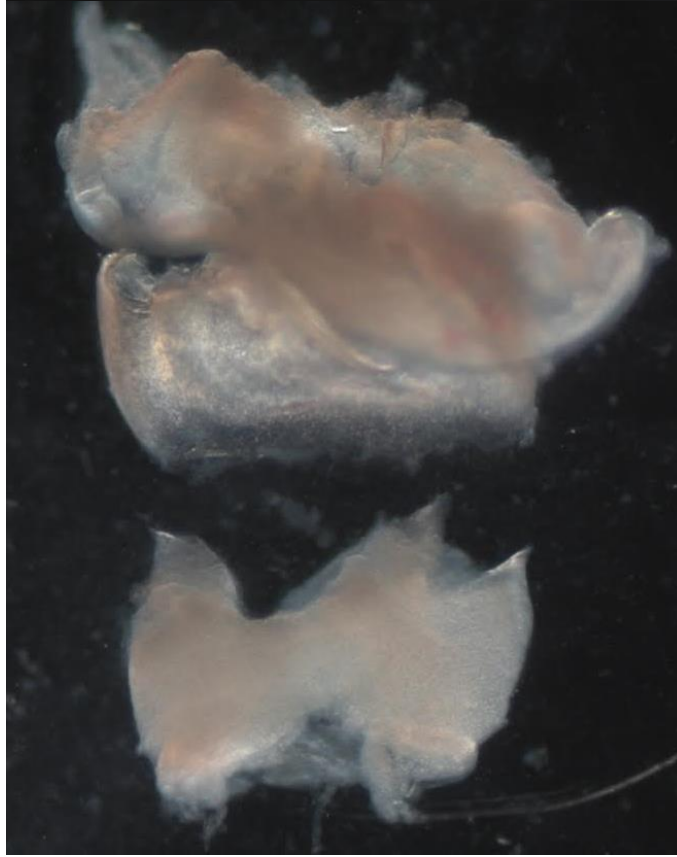
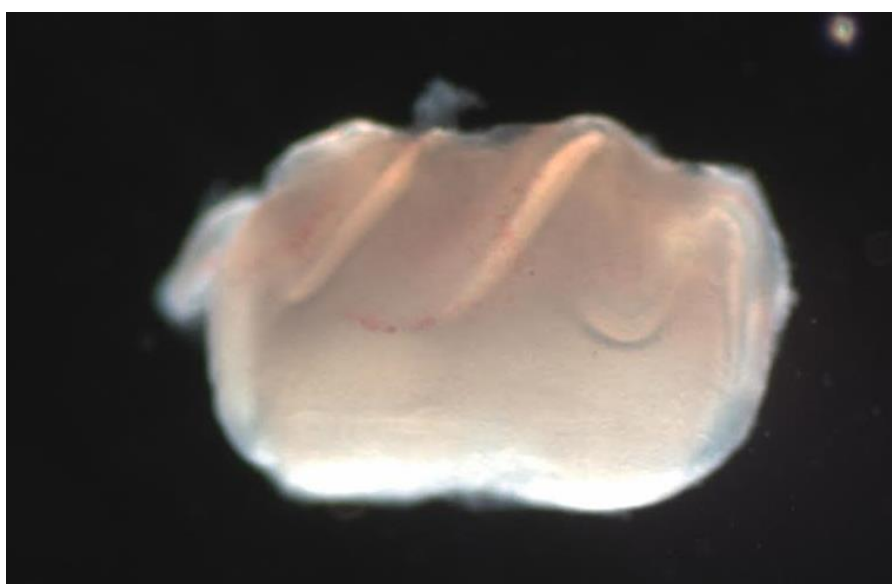
口腔組織の幹細胞



歯髄細胞からiPS細胞を作製



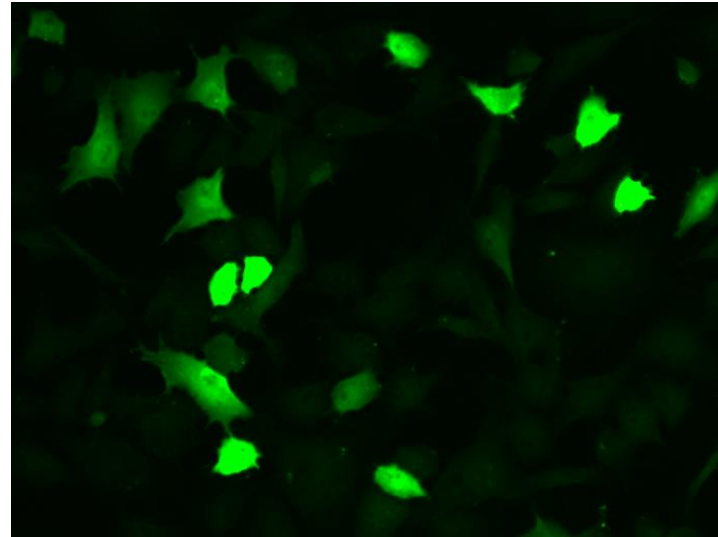
歯胚の発生メカニズム研究
小児歯科学講座
大学院3年生 木村基義先生



象牙芽細胞を分化誘導すると 緑色蛍光タンパク質として観察できる。
小児歯科学講座 大学院3年生 木村基義先生

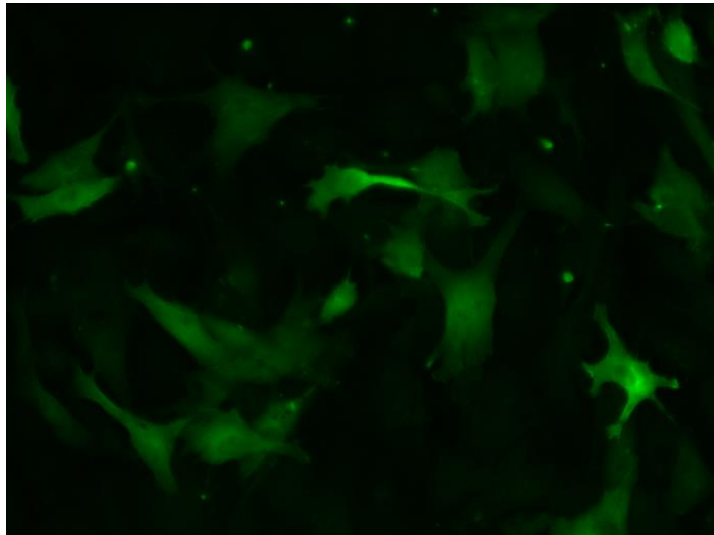


control□

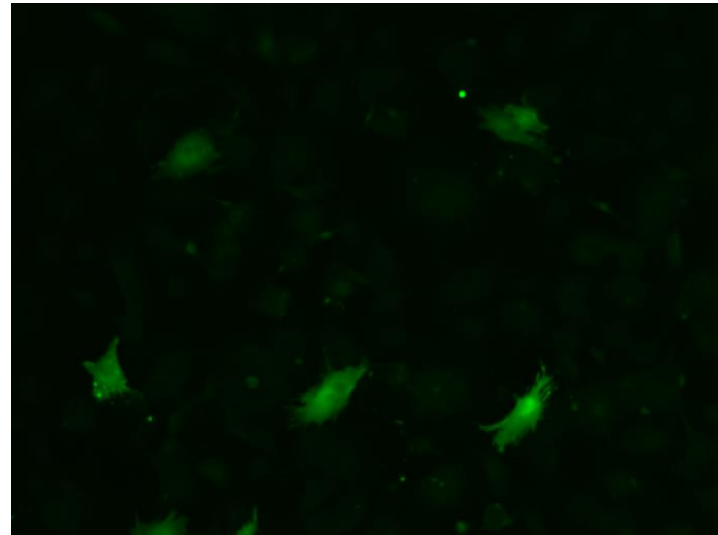


CHIR□

2016.08.31□



wnt3a□



wnt5a□

高速能力開発！！！！

将来有望！！！！

楽しい！！！！

自由！！！！